

全社戦略として、サステナビリティ課題の解決のためクラウドでPDCAサイクルを回す

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社

EYの専門家がクライアントの
変革のために以下のような課題の
解決をサポートします。

- 消費者は持続可能な製品を求めており、顧客は意欲的な目標を設定している
- 顧客はソーシャルメディアを通じて圧力を作り出している
- 企業ブランドは信頼の再構築に向け、Tier1以降も含むサプライチェーンデータの透明性を重要視している
- 投資家はサステナビリティにおける安心感を求め、企業ブランドが守られることに注視している
- 規制当局は企業に対してサステナビリティ活動を開示することを課しているとともに、各政府は国としての目標を定めている

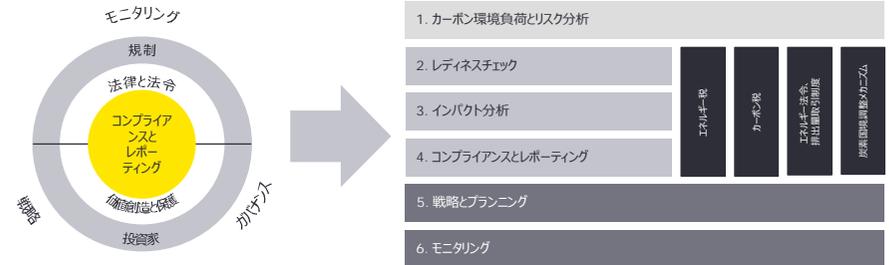
CEOが宣言した目標に対して、データに基づいた日々
のオペレーションは実施できていますか？

- クライアントのサステナビリティ課題に向けてのプロジェクトをエンド・トゥー・エンドで支援
- TCFDシナリオ分析・情報開示支援、中長期目標策定支援など経営課題への対応
- カーボン排出データの棚卸しと会計アプローチ
- 競合他社のレビューとポジション認識
- 脱カーボンプレイブックの整備とビジネスケースの作成
- 脱カーボン戦略を最新のクラウドテクノロジーを活用して実装（Microsoft Cloud for Sustainabilityなど）
- カーボン以外の資源（水資源、廃棄物など）を拡大転用するための支援

EYは、この領域の専門家を有する日本有数のプロフェッショナルファームとして、この難題に対し、各専門家による総合的なご支援をいたします。

EYの知見、サステナビリティの過去からの取り組みを軸に支援

投資家、消費者、その他ステークホルダーからのサステナブルであることへの要求が日々高まっています。EYの多くのクライアントも積極的なコミットメントを発表しており、EYはそれらのコミットメントに対し真摯にアクションを取ることを求められている状況であり、実際の組織においても運用化を進めていかねばなりません。テクノロジーはサステナビリティの領域においては重要な役割を担います。

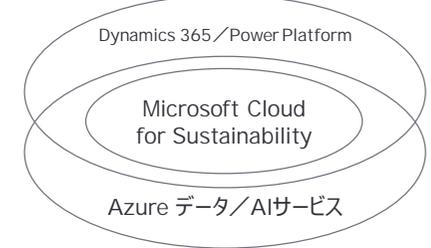


クラウドテクノロジーを活用した継続的なサステナビリティデータ管理とインサイト生成

要件

- 多種多様なデータソースからのESG運用データを収集：多くの場合には大容量でかつ頻発するタイプのワークロード
- 異なる運用領域の網羅が必要：サプライチェーン、製品デザイン、運用アクティビティに関する情報
- 組織の境界を越えた適用が必要：特にScope3においては使用フェーズの検証、利用終了に伴うインパクト
- 堅牢な分析基盤とデータ接続性：異なるデータソースからのデータ収集、スピーディな分析、パフォーマンスおよび意思決定に必要な情報の即時伝達がそれぞれ必要になる

Microsoft Cloud for Sustainabilityを軸にAzure、Dynamics 365、Power Platformなど、さまざまなサービスを組み合わせることで実現



お問い合わせ先

本サービスの詳細については、EY担当者にお問い合わせください。



岩田 浩一 Koichi Iwata
Japan Microsoft Practice Corporate DX Leader
EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
Koichi.Iwata2@jp.ey.com



奥主 洋 Hiroshi Okunushi
Japan Microsoft Alliance Leader
EY Japan株式会社
Hiroshi.Okunushi@jp.ey.com

EYとMicrosoft

EYとMicrosoft社とのアライアンスでは、EYが有する業界のディスラプティブ（破壊的な）トレンド、新しいビジネスモデル、進化のプロセスに関する深い知見と経験を、Microsoft社が提供する拡張型エンタープライズ向けクラウドプラットフォーム、各種デジタルテクノロジーと一体化させます。

EYとMicrosoft社は、企業戦略の支援、顧客体験と従業員体験の変革、データ駆動型新ビジネスモデルの創出、自律オペレーションの構築を行う、高度かつ革新的で、安全性に優れ、信頼性の高い対応型ソリューションを使用してデジタルトランスフォーメーションを促進していきます。

詳細については、https://www.ey.com/ja_jp/alliances/microsoft をご覧ください。

EY | Building a better working world

EYは、「Building a better working world（より良い社会の構築を目指す）」をパーパスとしています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。

150か国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。

アシュアランス、コンサルティング、法務、ストラテジー、税務および外トラザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起（better question）をすることで、新たな解決策を導きます。

EYは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数社のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人

情報の主体が有する権利については、[ey.com/privacy](https://www.ey.com/privacy)をご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、[ey.com](https://www.ey.com)をご覧ください。

EYのコンサルティングサービスについて

EYのコンサルティングサービスは、人、テクノロジー、イノベーションの力でビジネスを変革し、より良い社会を構築していきます。私たちは、変革、すなわちトランスフォーメーションの領域で世界トップクラスのコンサルタントになることを目指しています。7万人を超えるEYのコンサルタントは、その多様性とスキルを生かして、人を中心に据え（humans@center）、迅速にテクノロジーを実用化（technology@speed）、大規模にイノベーションを推進し（innovation@scale）、クライアントのトランスフォーメーションを支援します。これらの変革を推進することにより、人、クライアント、社会にとっての長期的価値を創造していきます。詳しくは[ey.com/ja_jp/consulting](https://www.ey.com/ja_jp/consulting)をご覧ください。

© 2023 EY Strategy and Consulting Co., Ltd.

All Rights Reserved.

ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的で作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社および他のEYメンバーファームは、本書が本書を利用したことによる誤りやその他の損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

[ey.com/ja_jp](https://www.ey.com/ja_jp)